



## 新年 明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。まず、昨年の事業についてご報告いたします。お陰様を持ちまして、マネジメントシステム認証件数は3,200余件と漸増し、建設分野でNo.1を維持することが出来ました。また、レディミクスト及びプレキャストコンクリートの製品認証も当面の目標でありました200件を超え、東京都・埼玉県の温室効果ガス(GHG)検証業務においては東京都からS評価を得ることが出来ました。

このうちマネジメントシステム審査については審査終了時に13項目のアンケートをお願いしております。ご回答いただきました結果を見ますと、ありがたいことに90%以上が「5.非常に良い」「4.良い」の評価を頂戴しておりますが、「1.悪い」「2.あまりよくない」の評価が1%程ございます。これ

らにつきましては全件、審査部からお客様に状況を確認させていただき、アンケートで頂いたご意見やご希望とともに審査員及び審査カルテヘフィードバックしております。



今年も『受審組織のマネジメントシステムに学ぶ』と言う姿勢を通じて、皆様に満足していただける審査・検証サービスをめざして、役職員及び審査員と共に取り組んでまいります。

これから大寒に向かいます。皆様のご自愛とご発展をお祈り申し上げます。

2014年 元旦

代表取締役社長 塚越 修

## 2015年規格改正について

ISO9001とISO14001は、各々2015年9月頃、2015年5月頃に改正版発行が予定されています(2013.12現在)。MSAでは、改定内容が固まり次第、組織様に対する説明会を実施いたします。

JIS版はISO版とほぼ同時期に改正版が発行される見込みです。

改正規格が発行されると、通常、発行後一定期限内に新規格への移行審査が必要になります(詳細は認定機関のJABからの指示によります。現時点ではISO9001の期限は3年、ISO14001の期限は未定)。

新規格では、従来規格ごとに独自の箇条立てになっていたものが、共通の構造に変更されます(右図)。これは複数規格の適用を考える組織にとって有益でしょう。また、規格ごとに用語・定義が異なっていたものが統一され、産業一般に適用可能な用語が用いられます。そのほか、ISO9001の適用範囲は現行と大幅な変更はありませんが、ISO14001では、ラ

イフサイクル思考やバリューチェーン上における環境影響への対応等が盛り込まれます。

両規格の改正状況は、日本マネジメントシステム認証協議会(JACB)のHPに今月より掲載予定ですのでご参照ください。

(項番は9001、14001とも共通)

0. 序文	6. 計画
1. 適用範囲	7. 支援
2. 引用規格	8. 運用*
3. 用語及び定義	9. パフォーマンス評価
4. 組織の状況	10. 改善
5. リーダーシップ	

\*8. は各規格により異なる

お問い合わせ：審査統括部(03-3456-6371)



## 審査員の想い（寄稿）

### 「去年より今年」

長い間 I SOの審査に携わってきて思うことは、はたして I SOの要求に随って活動することが会社の成長に繋がったのかということです。

審査における経営者のお答の中には、具体的に、信頼を得ることが出来営業成績が上がった、売り上げが上がりそれに伴って利益が増加した、社員のモラルが向上した、会社の規模が大きくなった等というものではなく、審査を受診するための建前的発言に終始することがあって残念な思いをすることがあります。

要求事項ひとつひとつについて、規格には何故このような要求事項があるのだろうかを再度考えてみると、組織が本当に必要としていることを、規格

は要求事項としてその実行を要求し、教えてくれていることに気付く筈です。通り一編に全てを網羅することは、決して組織にとって有効ではありません。重要と思われることを徹底して実行することです。

そして、社員一人ひとりが、去年より今年、何が出来るようになったのか、何が良くなったのか、効率が改善されたことは何か、を答えられるようになって欲しい。その変化の積み重ねが組織の活性化と成長に繋がります。何をすればいいのかを要求事項は教えてくれています。大上段に振り被り格好だけを付けても、何も役立つものは手に入れられません。身近な小さいことから取り組み、成果を実感できるように取組むことが必要です。

元 MSA 審査員 村田 重和

## MSA GHG の検証業務のご紹介

MSAでは、GHG第三者検証として、温室効果ガスの排出量の検証を行っています。

これは、温室効果ガスの排出量が大きい大規模事業所に排出量の報告・削減が求められており、その報告を行政に代わって検証するものです。

この制度は、東京都から始まり、MSAは既に都内の主要な建物を検証しており、豊富な実績とノウハウがあります。

建物、生産施設に精通した検証主任者が多数在籍し、信頼性の高い検証を行っておりますので、東京都の検証機関の評価（平成 25 年度 特定ガス

基準量検証）では、Sランク（特に良好 80 点以上）の評価を得ることが出来ました。

また埼玉県でも本格的にスタートし、商業施設や生産工場など多様な事業所の検証を行っております。



東京都及び埼玉県検証主任者

企画部主任 荒井 美紀

お問い合わせ：GHG 検証部（03-3456-6370）

## 事業推進部からのお願い

MSAはお客様とのコミュニケーションを大切にしたい、より質の高いサービスの提供を目指しています。「HPのお客様相談窓口」「審査前の打合せ」「審査後のアンケート」または、直接お電話でお客様の声をお聞きして、いわゆる「良い審査」の提供に反映させるように努めています。

日頃、疑問に思われることがありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

また、現在 MSAのホームページをリニューアル中

です（3月改装予定）。今は、「お問い合わせボタン」からメール、電話でお受けしているのですが、Web上のフォーム形式でもお手軽に発信して頂けるように致します。

より多くの「お問い合わせ、ご意見・ご要望」をお寄せいただき、より良いサービスの提供に活かしてまいりますので、今後ともお気軽にご相談いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ：HP「お客様相談窓口」又は事業推進部

[soudan@msac.co.jp](mailto:soudan@msac.co.jp)（03-3456-6370）

「登録事項変更通知（人事変更）」は弊社 HP からできます。  
（お問い合わせ：[tourokubu@msac.co.jp](mailto:tourokubu@msac.co.jp) 03-3456-6374）

審査員募集中！ 詳しくは [MSA](#) [検索](#)

### (株) マネジメントシステム評価センター

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル

ホームページ：<http://www.msac.co.jp/>

「MSAだより」編集責任：企画部（03-3456-6370）